

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのために

脳の健康度を知りましたよう

厚生労働省は、約15年後には65歳以上の3人に1人が認知症または軽度認知障害になるとの推計データを発表しています。しかし、軽度認知障害になっても、早期発見し対応すれば、16〜41%の人が健康な状態に戻るというデータもあります。自分の脳の健康度を知り、認知症の早期発見に努めましょう。

脳の健康度を測定できます

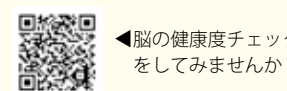
本市では、川内市医師会、薩摩郡医師会、エーザイ(株)と連携して、今年度から脳の健康度チェックを段階的に始めました。会場に行くことで、お持ちのスマートフォンなどを活用してチェックできます。申込方法や実施会場などについては、市ホームページをご確認ください。

脳の健康状態をチェック

- タブレットの画面に表示されるトランプの色や数字、絵柄などをタッチして脳の健康状態を測定
- 受付から測定、結果説明まで約30分



▲脳の健康度チェックの例



▲脳の健康度チェックをしてみませんか



▲「みんなにやさしいお店」ステッカー



▲「みんなにやさしいお店」の取り組みを始めました

「みんなにやさしいお店」があります

本市では、市民の皆さんが「認知症」について正しく理解し、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指して、認知症がある人にもない人にも優しく対応し、スムーズに買い物ができる「みんなにやさしいお店」の登録制度を実施しています。

このお店には、認知症を正しく理解し、望ましい対応ができる認知症サポーターが在籍しています。

登録店舗(令和6年12月31日時点)

- ・ファミリーマート迫川内駅前通り店
- ・ファミリーマート川内白和町店
- ・ファミリーマート薩摩川内天辰店
- ・ファミリーマート薩摩川内市比野店
- ・ファミリーマート薩摩川内田海店
- ・ファミリーマート東郷斧洲店
- ・道の駅 樋脇 遊湯館

問合先 本庁高齢・介護福祉課包括支援G
(内線2675)

登録店舗の認知症サポーターの声



▲ファミリーマート 薩摩川内天辰店 黒木店長

①接客で心掛けていることを教えてください。

お客さまと目を合わせて笑顔で接することを心掛けています。認知症サポーター養成講座で学んだ、「後ろから声を掛けない」、「丸みのあるやさしい声掛け」を意識しています。

②「みんなにやさしいお店」に対して思っていることは何ですか？

ファミリーマートの理念にも「地域に寄り添う、お客さま一人ひとりに、家族のように」とあります。どんな方にも笑顔で接していると、お客様から「お疲れさま」と声をかけてもらうこともあります。みんなにやさしい、地域の身近なお店を目指しています。



▲島田代表取締役(前列右端) 鹿兒島工場・北薩営業所原口代表(前列左から2番目)と従業員の皆さん

深ボリ! 企業のチカラ

第74回 ロードエンタープライズ株式会社 鹿兒島工場・北薩営業所

今回は、ロードエンタープライズ株式会社を「深ボリ!」代表取締役の島田隆夫さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、昭和41(1966)年に設立し、道路標識やカーブミラーなど、事故防止と安

全確保を図るための設備を製作・販売している、南九州エリアで唯一の会社です。道路でよく目にする標識だけでなく、観光案内板や立入禁止の標識なども設計・製作しており、需要に応じた製品を一つ一つ丁寧に作り上げて提供しています。



▲文字貼りをしている様子



▲機械による文字の切り抜き加工



▲板が変形しないように補強し、柱と接合するための部品の溶接の様子

こうした取り組みを通して、従業員のキャリアアップと会社の発展を両立させています。

今後の抱負

近年、道路の新設が減少傾向にあり、道路標識の受注が減少しています。こうした状況を踏まえ、斜面崩壊を防ぐ法面保護工事や橋、歩道橋、トンネルなどの社会基盤の整備も手掛けるようになりました。他にも、グループ会社と連携し、小水力発電の発電機部材を製造するなど、新たな事業にも挑戦しています。

これからも本市を拠点に、道路標識や社会基盤の整備を通して、市民の安全安心を守る企業として発展していきます。

ロードエンタープライズ株式会社

鹿兒島工場・北薩営業所

代表者

鹿兒島工場・北薩営業所代表 原口直人

所在地

入来町割田 5762 番地

従業員数

18人

連絡先

☎(44) 3361

ホームページ

Instagram



入社4年目 蒔崎大覚さん

社員からのメッセージ

道路標識製作に興味を持ち、最初の2年間は溶接部門で柱の製作を担当しました。現在は主に標識の板部分の製作を行っています。自分が手掛けた標識が街中に設置される責任と緊張を感じつつも、大きなやりがいがあります。丁寧な作業を心掛けながら作業速度を上げ、早く一人前になることを目標としています。技術を磨き、できる仕事の幅を広げ、会社貢献できるよう成長していきたいです。



▲認知症サポーター養成講座の様子

登録の流れ

高齢・介護福祉課に連絡

認知症サポーター養成講座を受講

講座を受講した認知症サポーターが2人以上いるお店を登録店舗として登録

登録店舗になるためには？

市が開催する認知症サポーター養成講座の受講が必須です。この講座を受講して、認知症に対する正しい知識や接し方について理解を深めましょう。

※認知症サポーター養成講座の受講については、高齢・介護福祉課までお問い合わせください。